

プロジェクトの活動紹介

平成22年度
の様子

① 「おらが川」人が親しめるきれいな川づくり

●家棟川エコ遊覧・環境学習の開催（26回 延べ593人参加）

市内の河川の多くが流入する家棟川で、手漕ぎの小型舟に乗り、豊かな生態系の観察を行う一方、河川の水質や散乱するごみの状況を直接体験する学習会を開催した。



●ほたる学校の開催（4自治会 1企業参加）

市内9ヵ所でホタルの幼虫の飼育実践を行うとともに、そのための学習会を開催した。平成22年度は、新たに2ヵ所で幼虫の飼育を開始。また地域ごとにホタルの生息条件に見合う川づくりに取り組んだ。

② 葦地帯をみんなで増やそう

●びわ湖の学習会とヨシ苗づくり

（中主小5年生134人）

環境学習の一環として、びわ湖とヨシについての学習会を行い、学校の池でヨシ苗の栽培を行った。



●ヨシ植えイベントの開催（264人参加）

（平成19年からの延べ植栽面積 3,510㎡）

小学生が育てた苗を含め、ポット苗1,000株、マット苗75個、計500㎡の植栽と、松林の保全（枝打ち作業）を行った。



③ 琵琶湖を身近なものにしよう

●あやめ浜まつりの開催（参加者166人）

シジミ採り体験やフナの稚魚の放流（2,000尾）、びわ湖の食文化体験など、びわ湖に親しみながら、びわ湖について学ぶことで、水環境の保全意識の高揚を図るための啓発イベントを開催した。



④ 野洲の里山の自然に触れよう、知ろう

●里山を歩く自然体験イベント（参加者166人）

定期的（毎月第1土曜日及び第3火曜日）に里山保全活動を実施、また、一般市民を対象に里山の歴史や自然環境について理解を深める自然体験学習会を開催した。



⑤ まちなかの緑ボリュームアップ大作戦

●河辺林の保全活動の実施（参加者 延べ71人）

市内に現存する野洲川の河辺林（野洲市市三宅地先）を、市民が散策などの憩いの場として利用できる自然公園「緑のプロムナード」として整備するため、浸食している竹の伐採作業を行った。

●河辺林での自然観察会の開催（参加者166人）

身近なところにある豊かな緑地の存在を多くの市民に知ってもらうため、河辺林の自然観察会を実施した。



⑥ 環境保全型農業推進計画

- 魚のゆりかご水田事業の啓発（各地区1回 延べ350人参加）

魚道を整備し、びわ湖から遡上するフナやナマズなどを水田で育てることで、生態系に配慮した減農薬栽培を4地区（安治、須原、堤、菖蒲）23.1haで実施した。



⑦ みんなで進める環境学習

- 環境フォーラムの開催（2回開催 延べ40人）



地球温暖化抑制をテーマとした学習会を自治会単位（江部、木部）で開催した。開催に当たっては、より多くの参加者を募るため、粗品（リサイクル商品）を配布した。

⑧ 生ごみ資源化システムづくり

- 生ごみリサイクルフォーラム開催（参加者 50人）

生ごみの減量啓発を目的に、そのメカニズムや事例について、写真や実物を交えながら分かりやすいフォーラムを実施した。

- 生ごみ減量の実証実験

家庭で出来る生ごみの堆肥化について、省エネに配慮した好気性微生物の働きによる方法について実証試験を実施中。



⑨ 天ぷら油を捨てずにエネルギー（BDF）化しよう

- 使用済み天ぷら油の回収

市民団体エコロジーマーケットやすの会と連携し、毎月第4土曜日に回収協力拠点14箇所で使用済み天ぷら油の回収を実施した。

回収量（合計5,399L）

エコロジーマーケットやすの会 1,649 L

野洲市回収BOX（市内12箇所） 3,750 L



⑩ お得で楽しいリユースステーションをつくろう

- リユースセンターの試行開始（3回実施 延べ104人参加）

リユース制度（試行）を行政と連携し、実施した。（譲渡品：小型家具、チャイルドシート、ベビーカー、バッグ類、陶磁器・食器類など）

⑪ 「こんなエコな店あるよ！」ガイドブック作成事業

- 「こんなエコな店あるよ！」ガイドニュース発行
- 平成21年秋から市内の主だった店舗を調査し、



情報を取りまとめ、食料品関係の31店舗の情報を掲載するに至った。

⑫ 一人ひとりが自動車社会見直す「エコドライブ活動」

- エコドライブ教習会の開催（参加者13人）

地域や企業においてエコドライブを普及するためのリーダーを養成するため、エコドライブが求められる背景とその運転方法、省エネ効果について学ぶ教習会を開催した。



⑬ ごみを出さない売り方・買い方が広がるまち

- ごみを減らそう出前講座の開催（13回実施 延べ601人）

買いものごみ減量をテーマとした出前講座を実施した。大人向けの講義形式の他、子どもやお年寄りにも親しみやすい人形劇・ダンスを取り入れ、分かりやすい講座を目指した。

- 行政のレジ袋削減取り組みとの連携

- 小売事業者との意見交換会への参加（11事業者参加）

